



国際・情報

INTERNATIONAL & INFORMATION

新潟国際情報大学広報 第10号

〒950-2292 新潟市みずき野3丁目1番1号 tel 025-239-3111 fax 025-239-3690 E-mail somu@nuis.ac.jp URL http://www.nuis.ac.jp

学習指導委員会の活動について

学習指導委員長 赤木 敏子



学習指導委員会の主な活動は、本学に入学した学生が国際化・情報化社会のリーダーとして活躍するための知識と教養を身につけ、最低4年間で在籍することにより、卒業要件を満たす単位数を修得して卒業出来るよう作成されたカリキュラムを開講して学生の学習環境を整えること、学生に対して年度初めに履修ガイダンスを実施したり、学生の単位修得状況によっては、学習上の指導を行うことです。

いずれの大学にも、学生がその大学で教育を受けるための基本的なルールを定めた「学則」があります。その「学則」に記載されていない細かいルールを定めたものを、本学では「履修要項」と称しています。「履修要項」には、学部・学科の教育のねらいや各学科のカリキュラムさらに卒業するまでに必ず履修して単位を修得しなければならない科目、必修科目や学生が自主的に選択して履修出来る科目（選択科目）の配当学年をはじめ、進級条件・卒業条件などを詳細に説明してあります。

学習指導委員会では、9月下旬になると翌年度の「履修要項」の見直しを始めます。最初に、各学科で検討された内容をもとに、開講する科目とその科目の担当教員を確定します。いずれの大学も事情は同じですが、すべての科目を専任教員だけでは開講できません。年間開講する科目の1/4前後の科目は非常勤講師の方々に協力していただき開講しております。非常勤講師の方々にもご事情があり、今年度担当して下さった方に翌年度もお願いできるとは限りません。科目担当教員が全員確定するには2、3ヶ月掛かります。その後、担当教員から提出していただいた講義概要を編集すると同時に、時間表を作成します。

通常ですと、これで新年度を迎える準備が整ったことになるのですが、2000年度に入学した学生からは新しいカリキュラムが適用されております。このカリキュラムにはその国の言語を学び、異文化を理解し、実体験出来る留学制度が導入されました。すなわち、情報文化学科では極東国立総合大学（ロシア）、北京師範大学（中国）、慶熙大学（韓国）と提携し、2年次後期にこれらの大学に5ヶ月留学しても在学期間が4年で卒業出来るようになりました。ただし、英語圏については、ノースウエストミズーリー州立大学（アメリカ）と提携し、2年次夏期休暇中に5、6週間留学出来るようにしました。また、情報システム学科では情報化が進んでいる北米社会を実体験し、英語によるコミュニケーション能力を高めるため、アルバータ大学・カナダへ2年次夏期休暇中に4、5週間留学出来る制度を設けました。このため、学習指導委員会では、これらの留学先の大学で開設される科目を履修し修得した単位を、本学のどの科目の修得単位として認定するのが妥当であるか、さらに単位を認定する条件など、留学に関するルールを新年度に向けて検討しております。

このように学習環境をいくらか整えても、在学年数の割に修得単位数の少ない学生が毎年数名あります。大学では高校までの学習とは異なり、自主的な学習意欲と自己の責任において単位を修得しなければならないのに、アルバイトに精を出し過ぎて出席日数がたりずに定期試験の受験資格を失う学生や、勉学目標を失う学生もおります。大半の学生は卒業に必要な単位数を4年間で修得して卒業します。私共は、ただ単に卒業要件を満たす単位数を修得するだけでなく、在学中に他人を思いやる心温かい人間性を育み、社会のリーダーとして活躍する知識と判断力、行動力を身に付けて欲しいと願っております。

なお、学習指導委員会の活動は、事務局学務課教務係の協力のもとに行われている事を付記いたします。



実習記 学外実 体験

情報システムが 実社会でどのように 生かされているのかを体験！

毎年、恒例となったこのインターンシップ。地域社会や産業界との積極的な交流を推進する新潟国際情報大学情報システム学科ならではの制度です。今年は、約60名の学生が参加。3年次の夏期休暇を活用して、民間企業や団体、事業所等で学外実習(インターンシップ)を行いました。在学中に企業の内側を見つめるということとは、これから実社会へ羽ばたく彼らにとって本当に貴重な体験です。就職先など今後の進路を決定する上でも役立つでしょう。参加者二人ひとり、実習先の業種や実習目的は異なりますが、現場の厳しさを身をもって感じたことで、働く意識や責任感、自立心を養い、本当に有意義な実習となりました。

実習を通して見た事・得た事と全体の感想

実習先 東芝アドバンスシステム

情報システム学科 3年 相羽 啓之

今回、私は東芝アドバンスシステムへ実習にきました。そして、その中で配属された部署は通称「LSS」と呼ばれる、官公庁系Webアプリケーションを開発している所です。

私がそこで実習したことは、普段この課が受けている仕事の流れを模倣的に行うといったものです。顧客との対話からはいり(これは担当主査が顧客だと見立てて簡易的に行いました)作業書(画面書/行程書/テスト行程仕様書)の作成をしました。私はあまりステップ数の多いC言語を組んだことがなかったのですが、作業書などは書いたこと(書くこと)がなかったこと、どの程度詳しく書くのかなどがわからず、手直しを何度もしました。そして、その後開発を行い、実習の大半の時間は開発にさきまよう結局、実習内容は企業に行かなくてもできるようなC言語プログラミングになってしまいました。

それでも学んだことや実感したことはあります。1 まとまった時間をもらったという点
普段、C言語などにはふれませんが、長い時間ずっとCのことを考えたり悩んだりしたことはなかったため改めて、感じたこともありました。
2 現実を知ったという点
現場の雰囲気、また仕事の現実をしりました。それは、私にとって少し落胆するものでしたが、3 優秀な方々と、私が話をしてみて思った人と話できた点
企業の一線を走っている方やそれなりの地位にいる人との会話はとても有意義でした。
主に以上の3点です。いろいろ不満はあったけど、学外実習に参加したことは良かったと思います。

実習に参加して

実習先 第四銀行

情報システム学科 3年 和田 直子

実習を終えて、私が今まで銀行に抱いていたイメージと、実際の銀行の仕事内容の幅広さが全く違っていたことが分かりました。本店では、たくさんのお金を熱処理で殺菌してから出したり、利用者の画面にタッチする早さに合わせて処理時間が変わるなど、優れた機能に驚きました。リスク管理や、EBについてなど、興味深いお話も聞くことができました。事務センターでは、1台5億円のコンピュータが4台稼働しているそうで、金額にも驚きましたが、信頼性のためには、それ程かかるのだと納得しました。また、銀行の大衆化や、ネットワークの拡大などの話をしてくれました。オンラインがない昔とは違い、現在の便利さを実感しました。実習は3日間でしたが、1日1日の内容がとても充実していて、大変勉強になりました。

実習を終えて...

実習先 博進堂

情報システム学科 3年 須川 素子

大学3年の夏休み。就職活動を考えて、ゆっくりと思いつき遊べる最後の長期休暇である。それなのに、2週間も学外実習か...と思いつつも参加することに決めた一番の理由は、普段では体験出来ない事をたくさん体験出来る、と思ったから。友達に大変だねえ!と同情の言葉を言われつつ、今回「一緒に実習を受ける磯沼亜紗子さんと共にがんばろう」と決意した。実際始まってみると、思っていた以上にいろいろな体験をさせてもらった。「実習」と聞いて考えるような事ももちろんあったが、それ以上に、こんな事もさせてもらえるの!?!みたいな経験が多かった。これは和田さんをはじめ、博進堂の方々のおかげだと思いい、とてもとても感謝している。そして一緒にがんばったアサコ。いつも助けてくれてありがと!一緒に本心に心強かったよ

全体の結論・感想

実習先 BSNアイネット

情報システム学科 3年 小林 邦範

この学外実習を通して、社会とはどういうものなのか、その仕事はどんなものなのかというものを学ぶ事が出来て良かったと思う。実際に社会に入ってみると、自分が思っていた以上に、社員が皆、黙々と仕事をこなしている、正直驚いた。自分自信もいかにげんには出来ないなと心にも思った。

仕事の方は、同じ作業の繰り返しというものが多く、正直いつて飽きてくる部分もあったけど、担当者の方から、仕事とはこんなもので、そうそう楽しい仕事ばかりではないよ、と言われ、なるほどなんだと改めて納得した。自分としては一番興味を持ったのがHP作成で、HPについて詳しい所までは知らなかったため、非常に勉強になった。また社会人としての礼儀会話など基本的なことも学ぶことが出来、こちらの質問にも社員の方が親切に答えてくれて、とても良い経験になったと思う。今後、学外実習をする後輩の皆さんにも、こういう職種を希望するしないにかかわらず、この「BSNアイネット」で実習をして欲しいし、就職活動をする上での貴重な判断材料になる事は間違いないと思う。



新潟商工会議所会報にも紹介されました



新潟商工会議所にて



三菱電機ビジネスシステムにて



NUIS OPEN CAMPUS

オープンキャンパス2000レポート

新潟国際情報大学では、今年も『オープンキャンパス』を開催しました。1回目・2回目とも好評で、計280名の高校生・父母が参加。中には入試の最新情報を得ようと、2回とも参加した人もいたようです。

大学という未知の環境に、さすがに1限目はガチガチだった参加者も、学食の試食を兼ねた昼食タイムで緊張もほぐれたのか、2・3・4限の模擬講義及びインターネットの体験実習（希望選択）では、時折笑いが起こるなどリラックスした雰囲気。自ら質問をするなど、積極的に取り組んでいる参加者の真剣なまなざしが印象的でした。なお、参加者は自分自身のホームページも作成しました。

また在学生との懇談コーナーや個別の入試・進学相談コーナーにも多くの高校生が集まりました。



<第1回> 平成12年7月22日 11:00～16:20 2、3、4限は希望により選択できます。

時限	時間	内 容			備 考					
	10:30～11:00	受 付								
	11:00～11:10	学部長挨拶 情報文化学部長 槻木 公一								
	11:10～11:40	大学案内・日程説明 広報委員長 高木 義和								
第1限	11:40～11:55	入試情報説明 入試実施委員長 市川 照久								
	11:55～12:40	入試問題の傾向と対策（国語・数学・英語）								
	12:40～13:30	昼 食(学生食堂「弥彦」試食)・休憩								
第2限	13:30～14:20	<table><tr><th>講 義</th><th>実 習</th></tr><tr><td>「戦争を考える 国際研究への誘い」 情報文化学科 佐々木 寛 240教室</td><td>「インターネット入門」 「CG、グラフィック入門」 「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室</td></tr></table>	講 義	実 習	「戦争を考える 国際研究への誘い」 情報文化学科 佐々木 寛 240教室	「インターネット入門」 「CG、グラフィック入門」 「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室		個別相談 入試進学相談 (2F喫茶) 学生会 在学生に対する 質問・懇談 (221教室)		
		講 義	実 習							
「戦争を考える 国際研究への誘い」 情報文化学科 佐々木 寛 240教室	「インターネット入門」 「CG、グラフィック入門」 「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室									
第3限	14:30～15:20	<table><tr><th>講 義</th><th>実 習</th><th>実 習</th></tr><tr><td>「文系・理系を 超えて情報系」 情報システム学科 杉野 隆 240教室</td><td>「インターネット入門」 「CG、グラフィック入門」 「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室</td><td>「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 CEPインストラクター D.ジェフリー・M.ワーウィック 122・124教室</td></tr></table>	講 義	実 習	実 習	「文系・理系を 超えて情報系」 情報システム学科 杉野 隆 240教室	「インターネット入門」 「CG、グラフィック入門」 「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室	「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 CEPインストラクター D.ジェフリー・M.ワーウィック 122・124教室		
		講 義	実 習	実 習						
「文系・理系を 超えて情報系」 情報システム学科 杉野 隆 240教室	「インターネット入門」 「CG、グラフィック入門」 「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室	「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 CEPインストラクター D.ジェフリー・M.ワーウィック 122・124教室								
第4限	15:30～16:20	<table><tr><th>講 義</th><th>実 習</th><th>実 習</th></tr><tr><td>「青年男女の隠れ肥満の 実態とその解消法」 情報システム学科 藤瀬 武彦 体育館棟A・トレーニング室</td><td>「インターネット入門」 「CG、グラフィック入門」 「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室</td><td>「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 CEPインストラクター D.ジェフリー・M.ワーウィック 122・124教室</td></tr></table>	講 義	実 習	実 習	「青年男女の隠れ肥満の 実態とその解消法」 情報システム学科 藤瀬 武彦 体育館棟A・トレーニング室	「インターネット入門」 「CG、グラフィック入門」 「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室	「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 CEPインストラクター D.ジェフリー・M.ワーウィック 122・124教室		
		講 義	実 習	実 習						
「青年男女の隠れ肥満の 実態とその解消法」 情報システム学科 藤瀬 武彦 体育館棟A・トレーニング室	「インターネット入門」 「CG、グラフィック入門」 「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室	「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 CEPインストラクター D.ジェフリー・M.ワーウィック 122・124教室								
終了後アンケート回収										

終了後アンケート回収

<第2回> 平成12年10月8日 11:00～16:20

2、3、4限は希望により選択できます。

時 間	内 容												
10:30～11:00	受 付												
11:00～11:20	学部長挨拶 情報文化学部長 槻木 公一 日程説明 広報委員長 高木 義和												
第1限	11:20～11:40	入試情報説明 入試実施委員長 市川 照久											
	11:40～12:40	入試問題の傾向と対策（国語・数学・英語）											
	12:40～13:30	昼 食(学生食堂「弥彦」試食)・休憩											
第2限	13:30～14:20	<table><tr><th>講 義</th></tr><tr><td>「マーケティングと情報 ビジネス最前線」 情報システム学科 正田 達夫 222教室</td></tr></table>	講 義	「マーケティングと情報 ビジネス最前線」 情報システム学科 正田 達夫 222教室	<table><tr><th>実 習</th></tr><tr><td>「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 G・ハドリー 122教室</td></tr></table>	実 習	「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 G・ハドリー 122教室	<table><tr><th>実 習</th></tr><tr><td>「インターネット入門」 情報文化学科 澤口 晋一 情報センター棟 マルチメディア実習室3</td></tr></table>	実 習	「インターネット入門」 情報文化学科 澤口 晋一 情報センター棟 マルチメディア実習室3	<table><tr><th>実 習</th></tr><tr><td>「CG、グラフィック入門」 情報システム学科 河原 和好 情報センター棟 マルチメディア実習室2</td></tr></table>	実 習	「CG、グラフィック入門」 情報システム学科 河原 和好 情報センター棟 マルチメディア実習室2
講 義													
「マーケティングと情報 ビジネス最前線」 情報システム学科 正田 達夫 222教室													
実 習													
「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 G・ハドリー 122教室													
実 習													
「インターネット入門」 情報文化学科 澤口 晋一 情報センター棟 マルチメディア実習室3													
実 習													
「CG、グラフィック入門」 情報システム学科 河原 和好 情報センター棟 マルチメディア実習室2													
第3限	14:30～15:20	<table><tr><th>講 義</th></tr><tr><td>「国際化と財政 国際研究への誘い」 情報文化学科 安藤 潤 222教室</td></tr></table>	講 義	「国際化と財政 国際研究への誘い」 情報文化学科 安藤 潤 222教室	<table><tr><th>実 習</th></tr><tr><td>「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 G・ハドリー 122教室</td></tr></table>	実 習	「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 G・ハドリー 122教室	<table><tr><th>実 習</th></tr><tr><td>「インターネット入門」 情報システム学科 塚田 真一 情報センター棟 マルチメディア実習室3</td></tr></table>	実 習	「インターネット入門」 情報システム学科 塚田 真一 情報センター棟 マルチメディア実習室3	<table><tr><th>実 習</th></tr><tr><td>「ホームページを作ろう」 情報システム学科 山口 直人 情報センター棟 マルチメディア実習室2</td></tr></table>	実 習	「ホームページを作ろう」 情報システム学科 山口 直人 情報センター棟 マルチメディア実習室2
講 義													
「国際化と財政 国際研究への誘い」 情報文化学科 安藤 潤 222教室													
実 習													
「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 G・ハドリー 122教室													
実 習													
「インターネット入門」 情報システム学科 塚田 真一 情報センター棟 マルチメディア実習室3													
実 習													
「ホームページを作ろう」 情報システム学科 山口 直人 情報センター棟 マルチメディア実習室2													
第4限	15:30～16:20	<table><tr><th>講 義</th></tr><tr><td>「青年男女の隠れ肥満の 実態とボディイメージ」 情報システム学科 長崎 浩爾 体育館棟A・トレーニング室</td></tr></table>	講 義	「青年男女の隠れ肥満の 実態とボディイメージ」 情報システム学科 長崎 浩爾 体育館棟A・トレーニング室	終了16:00								
講 義													
「青年男女の隠れ肥満の 実態とボディイメージ」 情報システム学科 長崎 浩爾 体育館棟A・トレーニング室													

オープンキャンパスWEEK



『オープンキャンパス』の模擬講義とは一味違った体験ができるのが、『オープンキャンパスウィーク』。

これは、新潟国際情報大で実際に行われている講義を高校生の皆さんに聴講・見学してもらうという企画です。

今年は10月20日から26日までの一週間、大学生と一緒にさまざまな内容の講義を受けてもらうことで、キャンパスの雰囲気や大学生活を実体験。20名の参加者は、「90分授業は初めて」「大学って面白い」「貴重な時間を過ごせた」と口を揃えていました。

10/20 Fri

1時限(佐々木)	外交と情報
2時限(広瀬)	朝鮮文化論2
3時限(松崎)	生活統計
4時限(槻木)	コンピュータソフトウェア
(ブラーソル)	ロシア文化論2

10/21 Sat

1時限	情報システム特論(市川)
-----	--------------

10/23 Mon

1時限(小宮山)	生産企画と管理
2時限(蔡)	日中コミュニケーション論2
3時限(永井)	コンピュータシステム
(正田)	マーケティング
4時限(ブラーソル)	ロシア語

10/24 Tue

1時限(河原)	アルゴリズム
2時限(高木)	情報論
3時限(杉野)	科学と技術
4時限(渡辺)	シミュレーション
(竹並)	情報システム開発

10/25 Wed

2時限(市川)	情報産業
(熊谷)	国際社会と法

10/26 Thu

1時限(高橋)	現代東南アジア論
2時限(原口)	情報化と発展途上国
(佐々木)	国際組織
3時限(越智)	アメリカ史概説
(安藤)	国際経済論
(広瀬)	日朝コミュニケーション論2
4時限(広瀬)	ロシア語

海外留学制度

新潟国際情報大学では、異文化に直接ふれ、大学の授業の成果を確かめ、その後の目標を定める足がかりとなるよう、海外留学制度を整えました。

この制度の大きな特徴は、留学先で取得した単位を卒業に必要な単位として認め、一定期間留学しても4年間で卒業を可能にしたこと。さらに留学生には定の奨学金が授与され、負担の軽減がはかられています。今年は中国と北米へ新潟国際情報大学から世界へ多くの学生が国際人の員として飛び立ちて行きました。

「情報文化学科」

情報文化学科では、二年後期のカリキュラムに、希望学生を対象にした海外留学制度を組み入れています。5カ月留学して4年間で卒業できる「派遣留学制度」は、中国・北京師範大学歴史学部と情報文化学科が、この春、交流協定を結んで実現したものです。

初の取り組みとなった今回、参加者は三、四年生を含む30人（内訳は、四年3人、三年6人、二年21人）で、来年一月までの約5カ月間、中国の歴史や文化、言葉学を学んできます。

今後、今回の中国をはじめ、アメリカ、ロシア、韓国



と海外四大学が用意され、一年次に専門科目として選択した言語にしたがって留学先を決定します。

外国語は現地ですぐの一番です。一定期間実際に生活することで、その国の歴史や文化に対する認識も深まります。情報文化学科では、できるだけ大勢の学生に留学してほしいと考えています。海外での体験一つひとつが、学生たちの未来にとって貴重な財産となるからです。

授業時間表の一例(北京師範大学 歴史学部)

上午(午前)				下午(午後)			
第1節	第2節	第3節	第4節	第5節	第6節	4:00~	夜
8:00 ~ 8:50	9:00 ~ 9:50	10:00 ~ 10:50	11:00 ~ 11:50	2:00 ~ 2:50	3:00 ~ 3:50		
中国語会話		中国語聴力		中国現代化研究		課外クラブ活動	予習復習 学生交流
中国語読解		中国語写作		中国古代文明		洗濯等	

「情報システム学科」

情報システム学科では、8/21~9/18の4週間、20名の学生が、カナダのアルバータ州の州都エドモントンにあるアルバータ州立大学で海外留学。夏期セミナーに参加しました。英語研修は、ESL英語教育プログラムに基づいた完成度の高い内容で、10名の少人数クラスに分かれ、毎日午前中に4時間の授業が行われました。

一方、専門科目の授業ではベンチャー企業を訪問するなど、インターネットを利用した最先端の技術や事業動向を学ぶことができました。両科目とも現地での受講実績とセミナー終了後に提出するレポートで正規の単位を取得できます。

また現地の学生といろいろな話題について意見交換するカンパセーションクラブやホームステイなどもあり、日本とは異なった生活習慣や文化を実体験。帰国後のアンケートでは、参加者のすべてが英語のコミュニケーション能力が向上したと答えています。

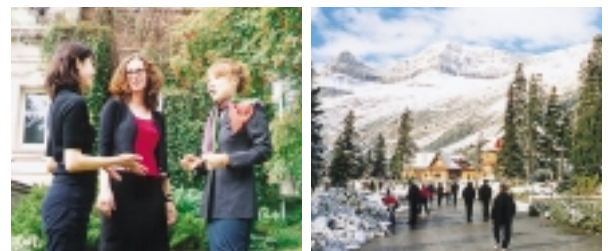
海外留学体験記

カナダ アルバータ州立大学にて

英語のクラスは毎日4時間、週4回行われました。私はイマンのクラスでした。
イマンはいつもクラスを盛り上げてくれて、笑いが絶えない授業で楽しく英語を勉強することができました。授業中ゲームをやったり優勝者にプレゼントをくれたり、鈴木さんとさやさんの誕生日にはケーキを焼いてきてくれて、みんなでお祝いしました。この海外研修のもつ目的は、ベンチャー企業を訪問しコンピュータシステムに関する説明を受けるというものでした。私のカナダに行く目的は、語学力を上げることだったので、えー。そんな勉強しなくていいよー。とずっと思っていました。初めのころは、日常会話でさえ聞き取るのに苦労していたので、専門用語の多い、lectureは絶対の昼寝の時間でした。しかし週間二週間と英語に触れる時間が積み重なっていくにつれ、少しずつ理解できるようになってくると、当初ほとんどできなかった質問がみんなからどんどん出るようになってきました。「on the way」を行ったことで、自分の英語の理解力を試すことができ、専門的な用語を知ることができ、もちろんコンピュータシステムについての勉強にもなりました。

カナダ研修は勉強だけでなくいろいろなイベントがありました。カナダを滑り降り、ロッキー山脈に登ったり、決められた行事以外にも高木杯というバレーの試合もありました。とかく年齢に関係なく、先生・生徒関係なく、みんな仲良く楽しい研修でした。研修だったので時間の制約は大きかったけれど、それでもみな十分楽しめた研修旅行だったと思います。

情報システム学科 2年 神田 咲子



情報システム学科 3年 清野 裕也

海外研修に参加するに当たって私が立てた目標は、まず旅の主軸である英語力の向上と、もつと自分の視野を広げるためというか、今まで築いてきた自分なりの考え方や物の捉え方を良い意味で壊せたいなと思いました。期間は1ヶ月、長くとも短くともとれる限られた時間の中で私は精一杯目標に向けて頑張りました。カナダで生活するのに英語はもちろん必要で、自分の言いたい事やしたい事を少しでも相手に分かちたい欲しく、何より外国の人と話す楽しさのために英語の勉強は自然に力が入りました。

後者の目標については、はつきりしたことはなんとも言えませんが、ホームステイでいきなり訳もわからぬ所へ連れて行かれ、そこから孤独なバス通学や一緒に家を探してくれたバスの運転手、突然のアンケートに笑顔で答えてくれたアルバータ大生、そんな一つ一つの出来事や触れ合いが私の中にゆとりや自信を持たせてくれました。

私にとってこの旅は初めての海外経験だったので勉強になることはたくさんあり、今挙げたのはほんの一部分に過ぎません。これからそれは学んだことを生かしてこの旅をもつ、価値のある旅にしていきたいと思っています。

授業時間表の一例(アルバータ州立大学)

8:00~12:00	14:00~16:00	19:30~21:00
英語クラス	—	カンパセーションクラブ
英語クラス	北米社会と情報	カンパセーションクラブ
英語クラス	北米社会と情報	—

詳しくは <http://www.nuis.ac.jp/> で、御覧下さい。

紅翔祭

第7回

KOSHOSAI

2000

～ 新風を吹き込め、そして伝統へ～

新潟国際情報大学学園祭

7回目となった今回の紅翔祭は、『新風を吹き込め、そして伝統へ』というテーマのもと、10月28日・29日の2日間にわたって開催。父母会や地元の赤塚からも大勢の方々にご来場いただき、大盛況となりました。年々新しい試みに着手し、今年は目玉となるイベントも盛りだくさん。これも、学生自らの手による運営が定着化してきた結果といえるでしょう。

メインイベント

走ってみようかな、と思った人も多いはず！

谷川真理さん 講演会

～『谷川真理』の抓力～

29日の講演会は、1991年東京国際女子マラソンで初優勝、1994年4月のパリ国際マラソンで2時間27分55秒という自己ベスト記録(優勝)したトップランナー・



谷川真理さんがゲスト。現在タレントとしても活躍中で知名度抜群ということから、人気が高く、会場は満員御礼。『市民ランナーの星』と讃えられ、大きな大会だけでなく地方のマラソン大会にも数多く参加している谷川さんならではのエピソード、走ることの楽しさ、マラソンのすばらしさをお話していただきました。

メインイベント

なんと教室がCLUBになっちゃった!?

LADY TO BORN 2000

SPECIAL GUEST
DJ SHINKAWA

現在、日本で最も注目を集めているDJが国際情報大に! 有名CLUBなどでのレジデントレギュラープレイに加え、最近では海外での活躍も目立つDJ SHINKAWAによる29日

の屋外イベントは、昼過ぎからあいにくの雨模様となり、残念ながら屋内での開催となりましたが、会場の教室は想像以上にヒートアップ。ハウス・テクノ・ワープといったジャンルを独特の表現方法で自由に操る彼のサウンドに、その場にいた誰もがHAPPINESSを共有し、大いに盛り上がりしました。

メインイベント

日本でアフリカ人が初めて作った劇映画

『車に轢かれた犬』映画)



～モリ・トラオレ監督 講演会～

モリ・トラオレ監督作品『車に轢かれた犬』は、二十年前京都で制作されました。この映画は、監督と同じように来日して京都に住んでいたあるアフリカ人の実話をもとに作られたものです。28日の午後の上映の後

では、モリ・トラオレ監督の講演会も行われ、この映画が語るさまざまなテーマ、20年後の今も色褪せていない社会の問題点をじっくりディスカッションすることができました。



模擬店



中国語劇『三国志演義』



フリーマーケット



アームレスリング大会



お茶会



ベンチプレス大会



体験メイク



演奏会



野菜の販売

第7回紅翔祭を終えて

紅翔祭実行委員長 桜井 れい子

今世紀最後の紅翔祭が終わりました。たった2日間のために3か月以上もの準備期間を費やしてきました。でもその2日間は私にとってかけがえのない財産になりました。それはたくさんの仲間たちと共に紅翔祭を作り上げてきたからです。また、第6回まで作り上げてきた人たちの苦勞のおかげでもあるでしょう。白紙の状態から何かを作り出すことは相当のエネルギーを要することだと思います。私たちにはまだ過去資料がありました。その資料をもとに仲間たちと当日へ向けて準備を進めていくことができたのですから。

私は今回いろいろなことを学びました。例えば、話し合いをするときには基になる内容をおこしてみるということです。当り前のことかもしれませんが。しかし私はそれを何度も忘れそうになりました。頭に入っているから大丈夫、とっていてもいざ文章をおこしてみると穴がちらほら。その穴を埋めて臨んだ話し合いの場でもまだ不十分で付け足しがでてきてしまう。しかし、それこそが収穫なのです。収穫はわずかかもしれませんが話し合いは密度の高いものになります。そしてもう一つ、紅翔祭を通して見えたものは、仲間の大切さです。「チーム一丸となって」という言葉があります。まさしくその通りでした。この チーム だからこそ今回の紅翔祭ができたと思います。また、この チーム と共に紅翔祭に関わって下さった多くの方々にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

地域

交流活動

大学は、地域社会のニーズを的確にとらえ、地域に貢献する存在になることが求められています。新潟国際情報大学でも開学以来、講演会、公民館活動の支援など、地域との連携を深めてきました。今年も市民のための公開講座を開催するなど、積極的に地域交流活動を進め、その実績を積み重ねています。

市民のための公開講座

インターネットの新時代

今やインターネットに対する市民の関心の高さは相当なもの。そのため「インターネット」の基礎知識から最新動向までをわかりやすく講義する今回の公開講座には、大変多くの参加希望がありました。残念ながらすべての人が参加できるといふわけにはいきませんが、定員80名、参加された皆さんは熱心に取り組み、本当に充実した公開講座となりました。

INTERNET

10月18日

「インターネットでなぜ世界中が見られるの」

10月25日

「インターネットで探し当てよう」

11月1日

「インターネットが変わる、経営が変わる」

11月8日

「オンライン・ショッピングの将来性と問題点」

場所/新潟ユニゾンプラザ5階 時間/18:00~20:00

インターネット体験教室

10月7日(土)に開催された「インターネット体験教室」は、赤塚小学校PTAの主催。新潟国際情報大学では地域交流の環として全面協力しました。参加者は、赤塚小に通う児童とお父さん・お母さん約60人。高学年と低学年に分かれ、低学年の教室ではマウスの使い方からホームページの開き方、検索の仕方などを順番に学習しました。日頃授業でパソコンに触れているせいか、親の方より子供の方が覚えが早かったようです。



2000年10月8日 新潟日報 掲載

極東国立総合大学と交流協定

11月17日(金)、本学科は北京師範大学歴史学部(以下、BSU)と学術交流の協定を結びました。

協定調印式では両学長や小澤理事長、極東国立総合大学函館校イリイン校長など、関係者が出席し、「学生や研究者の交流、学術情報の交換を促進する」とした協定書を交しました。

クリロフ学長は、「研究者や学生の交換を進めて総合研究や遠隔教育、様々な文化・スポーツ交流を行いたい」と述べ、武藤学長も「学生には異

新潟国際情報大学

奨学生決まる

この度平成12年度奨学生が次の通り決まりました。この奨学金は、各学科の学年毎に、前年度中に取得した科目の成績評価が最も優秀であった者及び、この1年間課外活動の振興に尽力し、すぐれた業績をあげた者に授与するものです。

「学業成績優秀者」

情報文化学科

4年次生 長谷川 杏里
3年次生 近藤 辰信
2年次生 川上 大輔

情報システム学科

4年次生 宮川 洋子
3年次生 神田 洋助
2年次生 西潟 瑞穂

「課外活動功労者」

情報文化学科

3年次生 今井 誠
3年次生 剣物 真由美
3年次生 桜井 れい子

情報システム学科

3年次生 稲垣 末広
3年次生 高野 美貴
3年次生 加藤 剛

文化を経験し、社会で生かせるようになってほしい」と抱負を語りました。

また、調印式に先立ち、「極東国立総合大学における教育の国際化」という演題でクリロフ学長による記念講演が行われました。

来年度9月より、本学学生が実際に極東国立総合大学へ留学することになります。



教員の活動

金己大教授

南北会談後の北朝鮮調査団として参加訪問したのは、日本経済研究センター顧問で、環日本海経済研究所(本部・新潟市)理事長を務める金森久雄氏を団長とする22人。同氏がつくる「北東アジア経済協力に関する金森委員会」が中心になり、貿易業界などの経済人、官僚OB、学者らで構成して、7月13日から8日間、ロシアのウラジオストク経由で訪朝した。平壤のほか、経済貿易地帯に指定されている羅津(ラジン)、先鋒(ソンボン)などを訪問し、産業の状況やインフラ社会基盤を中心に視察しました。

国際シンポジウムで発表

11月13日(月)に開かれた大東文化大学国際比較政治研究所主催のICPS国際シンポジウム「朝鮮半島の雪解なるか?」——その背景・意義・展望——において、南北首脳会議について、平壤ウオッチャーの視点から」という題で発表しました。

塚田真一講師「日本統計学会」

「Comstat2000」にて研究発表

7月26日(28日北海道大学で行われた日本統計学会にて、非正規母集団での分散共分散行列の固有ベクトルの検定について、「各固有ベクトルの同源性に関する検定法について」という題で研究発表を行いました。また8月21日(25日オランダ・トリヒトで行われたComstat2000にて「On the permutation test for equality of intermediate characteristic roots of two populations in a principal component analysis」, 「Permutation test for intermediate equality of characteristic vectors in two populations in a principal component analysis」という題で研究発表を行いました。

軟式野球部

東日本大会出場

軟式野球部は、新潟県秋季大会を別表の通り素晴らしい成績で全勝優勝しました。また、新潟県第1代表として、11月11日栃木県日光市(所野球場)で開催された第21回東日本大学軟式野球選手権大会に出場しました。

初戦は全日本大会優勝の日体大を相手に善戦しましたが、残念ながら12-0で敗退しました。

我が新潟国際情報大学の名前を広くアピールし、部員の学生時代の思い出の一つとなったことは大きな意義がありました。来年度は、新潟県大会で勝ち進むことは言うまでもなく、全国の大大会でも勝てるように頑張ります。皆様の応援をお願いします。

軟式野球部
2000年度戦績

新潟県秋季大会
4-1 葉科大
10-0 工業短大
9-0 造形大
4-0 経営大
8-5 新大歯学部
15-0 敬和
2-0 新大医学部
8-2 新大

第21回東日本大学
軟式野球選手権大会
0-12 日本体育大学
1回戦敗退

第3回韓国・朝鮮語スピーチコンテストに参加

スピーチコンテストに参加

11月18日(土)、第3回韓国フェスティバル(新潟市主催)の併催イベント、第3回韓国・朝鮮語スピーチコンテストが万代市民会館で開催されました。これは、本学、県立新潟女子短期大学、市民団体、新潟市など7団体で結成した実行委員会が主催するもので、広瀬貞三教員が実行委員長を務めました。

今回は1部に、本学から権平俊明さん、佐藤信夫さん、松岡慎さん(いずれも情報文化学科2年)、佐々木克さん(研究生)の4名が出場しました。審査の結果、佐藤信夫さんが1部の特別賞を受賞しました。



HBA資格認定試験開催

11月12日(日)、新潟国際情報大学において第2回HBA資格認定試験が行われました。

この試験は業務遂行に際し、情報技術を駆使し、いかに生産性向上に寄与できるかその能力を認定するものです。初の試験実施でしたが、本学でも約30名受験しました。

2000年度

TOEIC特別試験実施

今年も11月25日(土)、TOEIC特別試験が実施されました。

本学は試験会場になっているため一般受験料6,615円のところ、4,050円で受験できます。

今回は約60名の学生が受験しました。TOEICは、多くの企業で英語能力評価に用いられています。毎年実施されていますので、英語力の向上を目指す学生はぜひ実力を試してみましょ。

E.S.S.活動報告

私たちE.S.S.は昨年からHESSA(北信越英語会)に加盟し、年4回の大会を通して他大学との交流を交えながら英語力の向上を目指しています。HESSAには新潟大学、信州大学、金沢大学、富山大学、福井大学の5大国立大学と我がNUISが加盟しています。今年6月にフレッシュマン・ディスカッション、8月に夏の交歓会、10月にスピーチコンテストが行われました。12月にはドラマ・コンテストが福井大学の主催で予定されています。普段の活動としては映画上映会や、ネイティブの先生をお招きして週1回の英会話教室、学内でのTOEIC模擬試験の主催などの活動を行っています。E.S.S.ではこれらの活動を通して、部員一人ひとりがそれぞれのレベルに合わせながら英語を学んでいます。現在、HESSAの一大イベントであるドラマ・コンテストに向けて日々練習を重ねております。強豪ぞろいですが、今年は上位入賞目指して頑張ります。

陸上競技部

新潟国際情報大学の陸上競技部は、今年で創部7年目を迎えました。陸上競技部の最大の目標はインターカレッジへの出場ですが、その大きな目標実現のため、藤瀬先生と計良コーチの下、日タトレニングに励んでいます。

また、スポーツ推薦の導入により陸上競技部全体としてのレベルがアップし、仲間も時にはライバルというように互いに良い刺激を受け、充実した環境の中でトレーニングを行っています。

バスケットボール部

私たちバスケットボール部は年を重ねるごとに強化されています。現在、とても熱心に指導してくださる監督もいて、活気あふれる練習を行っています。

昨年春の新潟市民大会ではリーグ優勝することができました。この大会では部員のほとんどが出場し、チームワークの向上をはかることもできました。大きな大会ではありませんでしたが、勝ったことで自信が付き、一層練習に力が入ってきたようです。

これからもたくさんさんの大会に出場すると思いますが、練習量を増やし、良い成績を残していこうと思います。

英語スピーチ大会開催

11月18日(土)、ホテルサンリット新潟にて英語スピーチ大会が開催され、本学からも数名参加しました。受賞者は左記の通りです。

優勝	上智大学3年	近藤 三紗子
準優勝	東京外国語大学2年	服部 有紀
奨励賞	新潟国際情報大学4年	平野 加那子 他3名

バドミントン部

私たちバドミントン部は、時には厳しく時には楽しく、をモットーに優秀な監督とコーチの指導の下、日々練習に励んでいます。つい先日に行われた北信越大学の大会では以前から目標であった、部リーグでの優勝、部リーグへの昇格を果たすことができました。現在は来春に開かれる大会、部リーグで勝つための練習をしています。私たちは、とにかくバドミントンが好きで、やる気のあふ人間が集まった部活動です。

バドミントン部 平成12年度試合結果

第49回中部大学第48回学生バドミントン選手権大会
平成12年5月15日～5月20日

男子団体戦	新潟国際情報大学 0-3 名城大学
男子個人戦シングルス	
春田 正博	1回戦 ケン 船川 知晃(中京大)
	2回戦 0-2 越前 直哉(金沢学院大)
佐藤 靖洋	1回戦 2-1 岡本 俊(新潟大)
	2回戦 0-2 相井 健児(松阪大)
田辺 衛	1回戦 1-2 河井 大輔(中京大)
男子個人戦ダブルス	
春田・佐藤	1回戦 0-2 黒明・岡本(新潟大)
女子個人戦シングルス	
外山 楓	1回戦 0-2 山下 朱美(東海女子大)
岡 香織	1回戦 2-1 大村 真矢(愛知大)
	2回戦 0-2 伏屋 朱美(東海女子大)
女子個人戦ダブルス	
岡・外山	1回戦 0-2 水野・岸(愛知淑徳大)

第45回北信越学生バドミントン選手権大会
平成12年8月2日～8月5日

男子個人戦シングルス	
佐藤 靖洋	1回戦 2-0 岡田 良徳(金沢工業大)
	2回戦 0-2 越前 直哉(金沢学院大)
春田 正博	1回戦 0-2 山本 満(金沢学院大)
山本 功司	1回戦 0-2 原 大介(金沢工業大)
田辺 衛	1回戦 0-2 鹿野 良(福井大)
梅津 正幸	1回戦 0-2 山崎 岳史(金沢工業大)
男子個人戦ダブルス	
春田・山本	1回戦 0-2 越前・村城(金沢学院大)
佐藤・田辺	1回戦 0-2 加藤・野坂(富山大)
女子個人戦シングルス	
柳 菜穂子	1回戦 0-2 木下 公美子(金沢大)

第44回北信越大学バドミントン選手権大会
平成12年11月9日～11月11日

男子団体戦	部リーグ優勝	部リーグ昇格
(メンバー:梅津 正幸・朝妻 裕輔・春田 正博・中村 浩樹・山本 功司・佐藤 靖洋・田辺 衛)		
新潟国際情報大学	4-2 金沢経済大	
	4-0 福井県立大	
	4-0 高岡法科大	
	4-0 富山国際大	
部 部入れ替え戦	4-0 長野大	
女子団体戦	部リーグ優勝	部リーグ昇格
(メンバー:柳 菜穂子・山田 英美・岡 香織・外山 楓)		
新潟国際情報大学	3-0 上田女子短期大	
	3-1 新潟産業大	
	3-1 福井県立大	
	3-1 敦賀短期大	
	3-1 長野県短期大	

西川 時代激まつり 出演記

新潟国際情報大学に
おける伝統

情報文化学科3年

●
今井 誠

毎年十月上旬に西蒲原郡西川町で行われる「越後にしかわ時代激まつり」。このまつりは江戸時代に越後曾根の農民が、江戸幕府にその年に収穫された米を献上するために代官献上米行列を行っていたという時代背景をもとに昔風の屋台や服装で江戸情緒を再現したものです。まつり当日は他に様々な催しも行われ賑わいます。私が参加した代官献上米行列は、一般公募の60名が参加し、越後善光寺を出発し、本町通りを練り歩くというものです。代官をはじめ、献上米を警護する武士や米俵を積んだ大八車を引く農民などの本格的な衣装とメーキャップは江戸時代に舞い戻ったかのような印象を受け、参加者は役になりきり、まつりを楽しんでいきます。



出発前の表情



行列中の真剣な顔



みんなで記念撮影

今年もまつりの時期を迎え、私を含め数多くの新潟国際情報大学の学生が参加しました。私は今年で三度目の参加となり、西川町役場の方からも「あら、お久しぶりー!」、おっ、去年もいたよな」というお声をいただくようになりました。このことは新潟国際情報大学が地域交流を深めていくという点において非常に喜ばしいことだと考えています。

さて、毎年気になる配役のことなのですが、二年目は手付け役、二年目は先導役で参加させていただき、今年も昨年の実績を買われて(?)先導役をさせていただきました。先導役とは、行列の先頭に立ち、代官様のお通りじゃー!と声をあげながら歩くという役なのです。先にも書きましたがこの役も二度目となり、リラックスして臨むことができました。

また、今年はゲストとしてBSNラジオでもお馴染みの大倉修吾さんが参加され、代官役を演じられました。昨年は吉本興業の桂三枝師匠が代官役を演じられましたが、今年の代官役はさらに軽快且つ

絶妙な話題で場を盛り上げていました。私は昨年この紙面上に時代激まつりに対する不安を書かせていただいたのですが、今年のまつりの盛り上がりは私の不安を見事に打ち破ってくれました。今年は途中まで雨が降っており、一時はどうなるかと思いましたが、結果的に雨も上がり、非常に楽しむことができました。そのような悪天候にも怯むことなく無事に終了することができ、スタッフの皆様には感謝の気持ちで一杯です。

大学に入学して以来毎年まつりに参加しているということが、今や自分の中で伝統となっているように感じられてなりません。来年もぜひ参加させていただきたいと考えています。また、私が卒業した後も新潟国際情報大学の学生が途切れることなく毎年参加することで地域交流を深め、さらには大学の中に息づく伝統として続けてもらえたら幸いです。

湧 YUJEN 源

編集後記に代えて

広報委員長 高木 義和

新潟国際情報大学のホームページ改訂のため関係者公募を行い、このほどその公募を締め切りしました。最優秀作品を新しいホームページとして採用することになりましたが、ホームページの種々の機能を考えると残念ながらそのまま使用できる作品はありませんでした。しかし、応募作品それぞれに有用な機能が含まれていたため、4作品の長所を合わせたホームページを作成しました。これまで大学のスクールカラーとして使用してきた青をベースに、背景をシブな白とし、大学案内と一体感を持たせたデザインです。

新潟国際情報大学のホームページは、これまでその最大の利用者である本学学生の利用の便を図ることを最大の目的として改訂を続けてきました。今回は学内利用者の便を良くするとともに、対外的広報機能の拡充も目指しています。外に向けた広報機能をもたせるため、高校生の皆さん、在校生、在校生の父母の皆さん、企業の皆さんを主な利用者と想定しました。従って、大学の案内、入試・就職の情報とともにカリキュラムや講義概要なども取り入れることにしています。一方、学内の利用の便を向上させ、一般の利用者のリピート利用と滞在時間の延長を図るためリンク集を充実させることにしました。

さらにホームページの魅力が大きくなるためには新しい情報を常に提供できる必要があると考えられるので、トップページのコーナーを別途設けてここで新しい情報と新しい画像データを提供したいと考えています。また、英語、ロシア語、中国語、韓国語および英語のページ作成も計画をしています。今年中に新しいページに更新できるよう作業中なので、完成したら是非ご覧ください。